

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

1 月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ

報告数は2件(前月比-、前年同月比1.0)でした。令和3年4月の1例から、9ヶ月ぶりの報告です。有明と宇城から、いずれも成人例でした。昨年同様、全国的にも例年のようなインフルエンザの流行はありません。

小児科定点

(全体傾向)

報告数3,029件(前月比0.80、前年同月比1.52)で、前月よりも減少しました。手足口病と感染性胃腸炎の減少が主な要因です。前年同月よりも増えてはいますが、5類感染症は新型コロナ流行以前の同時期の約1/5と少ない状況ですので、小児感染症診療の最前線に大きな混乱はありません。2類感染症対応時の重要情報として、今後も5類感染症の発生動向に注視が必要です。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症 : 報告数490件(前月比1.4、前年同月比2.8)でした。12月から増加傾向が続いています。昨年は1月から報告が増えて春にピークを迎えたので、今後の動向に注意が必要です。2歳以下で全体の8割(412/490)を占めています。菊池(25.80)、水俣(24.50)からの報告が多いようです。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数35件(前月比0.5、前年同月比0.7)でした。前月比、前年比共に低下しています。1歳が全体の6割(22/35)を占めています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数40件(前月比0.5、前年同月比0.4)でした。前月比、前年比共に低下しています。令和2年5月から大きな変動は無く、低い値で推移しています。水俣(2.50)からの報告が多いようです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数1987件(前月比0.8、前年同月比1.5)でした。昨年8月からはゆるやかに増加して12月に例年並みのピークを認めましたが、1月は減少に転じています。しかし、過去2年に比べて減少の幅は大きくありませんので、今後の動向に注視が必要です。1~3歳を中心に全年齢層から報告されています。菊池(111.00)、有明(74.60)、八代(50.25)からの報告が多いようです。
5. 水痘 : 報告数30件(前月比1.5、前年同月比1.4)でした。令和2年5月以降、50件以下の低い値が続いています。20歳未満の全年齢層から報告されています。
6. 手足口病 : 報告数108件(前月比0.2、前年同月比2.2)でした。昨年9月のピーク以降緩やかに減少して、半年間続いた流行はやっと収束したようです。年齢別では1~2歳で全体の約8割(88/108)を占めています。八代(6.25)、天草(5.75)、人吉(5.00)からの報告が多いようです。
7. 伝染性紅斑 : 報告数2件(前月比0.7、前年同月比2.0)でした。令和2年5月から低い値で推移しています。熊本からの報告のみです。
8. 突発性発疹 : 報告数96件(前月比0.8、前年同月比0.7)でした。大きな変化は無く、例年と同様に推移しています。年齢別では6ヶ月から1歳に集中しています。
9. ヘルパンギーナ : 報告数48件(前月比0.5、前年同月比16.0)でした。昨年10~11月の流行は収束しました。昨年同月の発生数が3と低値であったため、前年同月比は高値になっています。八代(4.50)、天草(4.00)からの報告が多いようです。

10. 流行性耳下腺炎 : 報告数0件(前月比-、前年同月比-)でした。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。

2. 流行性角結膜炎 : 報告数 22 件(前月 19 件) 前月比 1.2 と微増していますが前年同月比は変わりありません。熊本 20 件、菊池 1 件、有明 1 件の報告です。年齢別では 30~39 歳、50~59 歳に山がありますが、60 歳以上にも少数の報告が見られます。

STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :

報告数75件(前月比1.2、前年同月比1.0)で、前月比で微増、前年同月比は同数でした。男女別では男性が47件と多く、女性は28件でした。年齢別では男性が15~64歳と幅広い年代に、女性は15~49歳にみられています。地区別は熊本が61件、宇城が4件、有明と八代が共に3件、御船と菊池が共に2件でした。

2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :

報告数25件(前月比1.2、前年同月比1.3)で、前月比、前年同月比共に軽度増加しています。男女別では男性が12件、女性が13件でした。年齢別では男性が15~49歳、女性は20~70歳以上にみられています。地区別は熊本が11件、八代が5件、菊池が4件、御船が3件、有明と宇城が各1件でした。

3. 尖圭コンジローマ :

報告数は4件(前月比0.7、前年同月比0.7)で、前月比/前年同月比は共に減少しています。男女別では男性が1件、女性は3件でした。年齢別では男性が25歳~29歳に、女性は20歳~54歳にみられています。地区別では熊本が2件で、菊池と八代が共に1件でした。

4. 淋菌感染症 :

報告数は32件(前月比1.2、前年同月比1.3)で、前月比、前年同月比共に軽度増加しています。男女別では男性が29件、女性は3件でした。年齢別では男性は15~59歳に、女性は15~29歳にみられています。地区別は熊本が22件で、宇城が6件、有明が2件、八代と菊池が共に1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :

報告数は26件(前月比:1.3、前年同月比:1.5、男女比:16/10)と増加傾向でした。熊本(9)、阿蘇(7)、水俣・人吉・有明・天草(各2)、菊池・八代(各1)でした。年齢分布としては70歳以上(19)、55-59歳、60-64歳(各2)、35-39歳、45-49歳、65-69歳(各1)と高齢者に多く認められました。

▼例年より多めの報告数でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :

報告数は6件(前月比:6.0、前年同月比:-、男女比:3/3)と増加傾向でした。熊本(6)でした。年齢分布としては0歳、70歳以上(各2)、1-4歳、5-9歳(各1)と二峰性でした。

▼例年より多めの報告数でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-、男女比：-/-）で報告はありませんでした。
▼例年並みの報告数でした。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は1件（前月比：-、前年同月比：-）で報告は1件のみでした。人吉(1)で年齢分布としては、10-14歳(1)でした。
▼例年並みに少ない報告数となっています。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数です。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数です。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼昨年度に引き続き報告がありません。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数です。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	11件
3類感染症	： 報告はありませんでした。	
4類感染症	： レジオネラ症	1件
5類感染症	： 後天性免疫不全症候群	1件
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
	水痘（入院例）	1件
	梅毒	9件
	百日咳	2件
新型インフルエンザ等感染症：		
	新型コロナウイルス感染症	13,837件